



広報 常陸大宮

2021

1

No.196

丑年



Hitachiomiya SNS



主な内容

- P2～3 新年の挨拶
- P4～5 令和2年に叙勲・褒章を受章された皆さん
- P6 青少年育成常陸大宮市民会議賞状授与式
- P8～12 まちのできごと

新年の挨拶



常陸大宮市長
鈴木 定幸

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和3年の輝かしい新春をご家族おそろいで、健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げますと共に、旧年中の温かいご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

振り返りますと、昨年は新型コロナに翻弄された1年であったように思います。着任早々、新型コロナによる死者ゼロ、コロナ禍を原因とした市内企業、小規模事業者の倒産・廃業・撤退ゼロを目標に掲げ、様々な対策に取り組んでまいりました。今後も国・県の支援を最大限に得ながら、必要な対策を講じ、全力で取り組んでまいります。

また、一昨年には令和元年東日本台風が本市に大きな爪痕を残しました。政府は昨年12月に、災害に強い地域づくりを狙いとした2021年度から2025年度を期間とする国土強靱化「5カ年加速化対策」を閣議決定し、老朽インフラの修繕などの防災・減災事業に関する完了時期の前倒しなどを示しております。こうしたことから、令和元年東日本台風からの復旧復興につきましても、那珂川・久慈川の緊急治水対策プロジェクトを加速化させ、国や県、市民の皆様と連携し、強力で推進していく考えであります。

さらに少子高齢化や人口減少問題を最重要課題として、大幅な保育料改定の検討や、私が政策の一丁目一番地と位置づけている常陸大宮駅周辺整備事業のほか、那珂川大橋の架け替え整備事業と歩調を合わせて進めなければならない「まち」と「河川空間」を融合

させた「かわまちづくり計画」など、「今やるべきこと、今しかできないこと」を的確に捉え、選択と集中を以って、常陸大宮市が変わっていくことが実感できる「わかりやすい」まちづくりを、ソフト・ハードの両面から目指してまいります。

未だに新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況ではありますが、コロナ禍も角度を変えて見れば、リモートワークや自然と触れ合うキャンプ需要など、地方に追い風と感じられるところも数多く見出すことができます。今日のコロナ禍による閉塞感を打破すべく、逆風を追い風に変えるような発想の柔軟性を持って、あらゆる課題に、果敢に挑戦していこうと思えます。

最後に、市民の皆様にお願ひです。「自助」とは自分の力だけで事を成し遂げることが本来の意味ですが、今必要なのはこの言葉を「自分が助けにいく」という趣旨に読み替えて行動することだと考えております。コロナ禍の中で、自分が「なくなって欲しくない」と思う場所が存続できるよう、できることをする。公助に比べ微々たるお金しか使えなくとも、この場所を必要としている人がいるというメッセージは市民一人一人にしか届けられません。外食、散髪、買い物、何でも結構ですので、市内で経済を循環させ、皆でこのコロナ禍を乗り越えていきましょう。

結びとなりますが、皆様方のご健勝とご多幸、そして実り多き輝かしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。



常陸大宮市議会議長
小森 敬太郎



新年明けましておめでとうございます。

令和3年の輝かしい希望に満ちた新春を、お健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より議会運営に対しまして、温かいご支援と深いご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。昨年8月の第11代議長就任以来、初めて迎える新年でございますが、大変身の引き締まる思いでございます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の発生により、東京2020五輪の延期や様々なイベントの中止、緊急事態宣言による学校・企業などでの休業、医療の逼迫など、多くの影響がございました。

こうした中、テレワークやテレビ会議など新しい取り組みが加速され、マスク着用、ソーシャルディスタンスの維持など新しい生活様式が浸透いたしました。私たちは今まさに、時代の大きな転換点に立たされています。新型コロナというピンチを新たな事にチャレンジするチャンスに変えることで、新しい時代を築いていかなければならないと考えております。

一方で、将棋の棋聖戦での藤井聡太7段の最年少タイトル獲得、テニスでの大坂なおみ選手の全米オープン優勝、スーパーコンピュータ「富岳」の計算速度世界一や小惑星探査機はやぶさ2から分離されたカプセルの地球帰還など明るい話題もございました。

常陸大宮市においては、行事等の中止や延期、規模

縮小を余儀なくされた1年でありましたが、多くの分野において、ご活躍・ご尽力された多くの方々に敬意と感謝を申し上げますとともに、今後の更なる飛躍と尚一層のご発展をご期待いたします。

近年の地方分権の進展に伴い、住民福祉の向上や安全・安心なまちづくりなど多岐に亘り市の役割が益々重要となっております。本市では、市の将来像を見据えた「第二期創生総合戦略」の策定が進められておりますが、少子高齢化・過疎化の進行に伴う人口減少対策を最重要課題と位置づけ、執行部と議会が連携を図りながら、市民目線で考えた施策に取り組む覚悟であります。

中長期的な視野に立ち、常陸大宮駅周辺整備事業や各支所を拠点とした周辺地域の活性化などの計画を着実に進め、「持続可能なまちづくり」と「地域をつなぎ安心して暮らし続けられる拠点づくり」の実現にむけ、二元代表制の一翼を担う議会が一丸となって鋭意努力することをお誓いいたします。その結果、未来を担う市の宝である次世代の子供たちにしっかりと「常陸大宮」の譽を渡し「人が輝き 安心・快適で活力と誇りあふれるまち」が実現されるものと考えております。

結びに、今年の干支「丑年」が粘り強さや堅実さを表すことから、焦ることなく、一步一步確実に前へ進まれ、皆様にとりまして実り多き年となりますことを、心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

令和2年に叙勲・褒章を受章された皆さん

(発令順)

受章おめでとうございます。

各界で長年の功績により、受章された皆さんをご紹介します。

叙勲・褒章とは…

国家または公共のために功労のあった方に対し勲章が授与されることを「叙勲」、様々な社会的分野において優れた業績のあった方に、褒賞の記章が授与されることを「褒章」といいます。

生存者に対する叙勲・褒章は、春秋叙勲、春秋褒章や88歳以上の方を対象とした高齢者叙勲、著しく危険性の高い業務（警察官、消防吏員、自衛官等）に精励された方を対象とした危険業務従事者叙勲などがあります。

◇瑞宝双光章

やぎゅう みる 柳生 実さん（警察功労）



昭和43年に茨城県巡査に任命以来、警視正まで昇任され、平成21年に警察本部警務部教養課長で退職されるまで、つくば北警察署長、牛久警察署長等の要職を歴任、長きにわたり多くの部門で活躍されました。特に刑事部門では、豊富な経験と強い正義感、責任感を持って多くの事件を検挙・解決され、茨城県の治安維持に大きく貢献されました。

◇瑞宝双光章

ほり え おさむ 堀江 修さん（消防功労）



昭和48年に旧大宮山方地区消防事務組合消防士として奉職以来、重職を歴任、消防長として消防組織の確立強化と施設等の整備拡充、職員の教育向上等、消防行政に尽力されました。特に東日本大震災で被災した消防本部・東消防署庁舎の仮設庁舎設置、新庁舎建設に際し、次長兼総務課長として迅速に対応され、消防拠点施設としての機能維持に貢献されました。

◇藍綬褒章

てらかど みつり 寺門 光文さん（統計調査功績）



昭和50年に農林業センサス調査員に任命以来、同調査に9回あたられたほか、国勢調査、事業所・企業統計調査、工業統計調査、商業統計調査、茨城県農業基本調査等、数多くの統計調査に合計46回従事され、長きにわたり統計調査の推進に貢献されました。また、消防団員として多くの火災等に出動され、地域防災にも尽力されました。

◇旭日双光章

いさか ざんまい 井坂 残米さん（文化財保護功労）



昭和46年に刀剣鑑定師に認定され、その卓越した技量により、平成2年から現在まで長きにわたり茨城県銃砲刀剣類登録審査委員として、銃砲刀剣類の保護及び保存に貢献されました。また、平成16年から常陸大宮市文化財保護審議会委員、特に平成28年からは同会長として、刀剣類にとどまらず地域の多くの文化財の保存・活用に尽力されています。

◇瑞宝双光章

せや のりお
瀬谷 憲雄さん (国土交通行政事務功勞)



昭和40年に運輸省に奉職以来、平成14年に関東運輸局神奈川陸運支局長で退職されるまで、国土交通事務官として輸送業務を中心に運輸行政に尽力されました。退官後は社団法人茨城県バス協会において運輸関係業務に従事され、通算47年の長きにわたり豊富な経験と高度な知識により運輸業界の健全な発展に貢献され、社会公共の利益の増進に寄与されました。

◇瑞宝双光章

もがき え
茂垣 きよ江さん (社会福祉功勞)



昭和46年の大宮みのり保育園の開設時から保育士として長年、乳幼児保育に尽力。平成5年から特別養護老人ホームみのり園の施設長として、平成24年からは小規模特別養護老人ホームみのりの森の施設長を兼務され、介護保険の理念と地域に根付いたサービスの実践に努められ、長年にわたり高齢者福祉の向上、地域の高齢者サービスの充実に貢献されました。

◇瑞宝双光章

おのせ としゆき
小野瀬 利行さん (教育功勞)



昭和28年に染和田中学校(現常陸太田市)教諭として奉職以来、平成5年に緒川村立緒川中学校長で退職されるまで長きにわたり、教育に対し深い識見と強い信念を持って教育の諸活動を展開、学力・体力の向上、生徒指導の充実に専心され、また管理職として学校施設の維持・管理面についても尽力し、教育の振興発展に貢献されました。

◇瑞宝小綬章

ささぬま みつのり
笹沼 光典さん (教育功勞)



昭和49年に県立高萩工業高等学校の電気科教諭として奉職以来、平成20年に県立水戸工業高等学校長を退任されるまで、長きにわたり人間性豊かで確かな技術力を備える生徒の育成に努めるとともに、教育庁では県立高校の入学選抜の導入や学科改編、再編整備計画に基づく統合と開校など、高校教育改革に尽力され、本県教育の振興発展に多大な貢献をされました。

◇瑞宝双光章

かみくぼ よういち
上久保 洋一さん (教育功勞)



昭和48年に玉造中学校(現行方市)教諭として奉職以来、平成21年に大宮小学校長で退職されるまで長きにわたり、学校現場で教育の諸活動に尽力されました。退職後は平成21年から平成30年まで市教育委員会教育長を務められ、学校の統廃合や校舎改築などの教育環境の整備、郷育立市宣言の作成に尽力されるなど、教育の振興発展に貢献されました。

◇瑞宝単光章

てらかど かずお
寺門 一夫さん (消防功勞)



昭和50年に旧大宮町消防団に入団以来、班長、部長、分団長を歴任され、現在は本部員(分団長格)として、長きにわたり住民の生命、財産を守るため、日夜献身的に消防活動に精励され、消防団の発展に貢献されました。分団長として消防施設の整備拡充に尽力されたほか、災害現場では抜群の状況判断と指揮・行動力を発揮されており、多大な功績を残されました。

令和2年度青少年育成常陸大宮市民会議賞状授与式

青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を高めようという目的で毎年開催していた「青少年をたたえる市民のつどい」（青少年育成常陸大宮市民会議主催）が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら中止になりました。そのため、今年度は「令和2年度青少年育成常陸大宮市民会議賞状授与式」として実施しました。

【善行青少年表彰者】

区分	氏名	学年	表彰内容
小学生	江幡 悠美 セラケスキン (上野小学校)	5	普段から祖母に、世界には恵まれず貧しい子がいる話をよく聞かされていた。そんな中で、小学4年生の時にヘアドネーション*のを知り、人の役に立つならばと親に相談し、ヘアドネーションすることを決断した。
	富山 結衣 (上野小学校)	5	親戚にガンを患った方がいることがきっかけとなってヘアドネーションのを知り、今まで一度も髪を切ったことがなく伸ばしていたが、人の役に立つのならばと考え、親に相談し、ヘアドネーションをすることを決断した。
中学生	菊池 優杜 (大宮中学校)	2	8月22日(土)の朝、「ヒカリの木」〔西小付近〕前の道路を通りかかったところ、裸足で歩いている女の子(3~4歳)に気づき保護した。不安を抱えた女の子に対して、話をしたり、励ましたりして安心するように対応した。通りかかってその様子をみていた施設の方が女の子を保護するとともに警察に連絡をし、無事に保護者に引き渡すことができた。
高校生	【高校生会】 相原 侑紀 太田 茜 瀧 快彦 仲川 莉央 野上 祐希 廣木 尚哉 四倉 紗希	3	常陸大宮市高校生会として、奉仕の精神をもって、それぞれ市内のお祭りや成人式等でのボランティア活動を行った。特に令和元年度の北海道ふれあいの船事業においては、グループの指導者と共に協力し合い、5日間にわたる体験学習の支援を行った。

※ヘアドネーション (HairDonation) とは、小児がんや先天性の脱毛症、不慮に事故などで頭髪を失った子どものために、寄付された髪の毛でウィッグを作り無償で提供する活動のこと。

【青少年健全育成表彰者】

支部	氏名	表彰内容
大宮	小田倉 恵津子	平成24年から9年間青少年相談員として、地域の小中学校への支援協力を続けており、上野小学校では朝の「あいさつ・声かけ運動」に毎回参加し地域住民から感謝されている。また、新型コロナウイルス感染防止を図るため、児童・教員全員に250個の手作りマスクを寄付した。



▲受賞された皆さん

古代の常陸大宮を知る



～後三ヶ尻A遺跡発掘調査～

令和2年9月、個人用住宅の建設に伴い、後三ヶ尻A遺跡の発掘調査を実施しました。その調査の概要をお知らせいたします。

●^{うしろみ かじり}後三ヶ尻A遺跡とは？

後三ヶ尻A遺跡は、常陸大宮市上村田地区に所在する遺跡です。玉川右岸の台地上・村田小学校の上に立地するこの遺跡は、奈良・平安時代の集落跡とされており、『大宮町史』によると、同時代の土器を多数確認したと書かれています。しかし、令和2年4月に個人用住宅建設に伴う試掘調査を実施したところ、中世（鎌倉～室町時代）のものと思われる溝やピット（穴）が確認され、中世まで続く遺跡である可能性が高くなりました。その後、保護層の確保が困難となることから、記録のため9月に発掘調査を実施することになりました。

●調査結果

10日間にわたる発掘調査の結果、中世の溝1条に加え、平安時代～中世までの土坑5基と、建物の柱穴と思われるピット60基が確認されたほか、平安時代の須恵器・土師器といった土器や、室町時代の古瀬戸（一部）などが出土しました。特に古瀬戸が出土したことで、単なる集落遺跡ではなく、この地を治めていた有力者の生活拠点であった可能性が出てきました。実際に、周囲を踏査したところ、土塁らしき跡も確認されたことから、中世城館のような施設が存在した可能性も十分に考えられます。



発掘直後の状況

●佐竹氏との関係も？

今回調査を実施した三ヶ尻という場所ですが、室町時代の古文書（「領地違乱書付」）にその名を確認することができます。この古文書は、当時佐竹氏が領有していた土地を記したものであることから、三ヶ尻一帯も佐竹氏に関連する人物が支配していたと考えられます。先ほども述べたように、中世城館が存在した可能性は考えられますが、この地を誰が治めていたかについてはよくわかっていません。城館跡との関連については、今後も調査をつづけていきます。



出土した土器・陶器

今回の発掘調査では、たくさんの方にご協力いただきました。これらの成果は私たちのふるさと常陸大宮市の成り立ちを知るための貴重な資料となります。今後ともご理解とご協力をお願いします。

11/14・21・
28・12/5

小学校かけっこ教室

西部総合公園多目的グラウンドを会場に、小学生かけっこ教室を開催しました。市内の小学生50名が参加し、講師として茨城陸上協会強化コーチの住谷利勝先生と市東京オリパラ推進室の本多美月主事、また、助手として茨城大学の陸上競技部5名の方々が、遊びの要素を取り入れたプログラムで、走るときの姿勢や足の動かし方などをしていねいに指導しました。

教室では、走ることが好きな子はもちろんのこと、運動が苦手な子も笑顔で意欲的に取り組んでいました。閉講式では住谷先生から「子供のうちにいろんなスポーツに触れ合うことが大事」と参加した子供たちへメッセージが送られました。



▲青空の下で、思いっきり走りました！

11/28・30・
12/2

御前山・那珂川広域連携協議会の 地域案内人が活動しています

常陸大宮市と城里町は両市町に跨る御前山地域に特化した観光事業を平成28年度から広域連携で展開しています。「御前山・那珂川地域案内人」もその一つで現在6名の案内人が在籍し、地域案内等の活動を行っています。

このほど県内の観光客からの依頼を受け、「清流那珂川を望む御前山紅葉ハイキング」のガイドを務め、コース案内のほか御前山の歴史や那珂川の説明などを行い、ツアー客は熱心に耳を傾けていました。今後も協議会独自の企画や依頼に応じた案内を展開していく予定です。



▲御前山東登山口～青少年旅行村ルート
「第2あずまや」で撮影

11/29

常陸大宮市海外出身者による日本語スピーチコンテスト

国際交流ボランティアばらの会主催の「海外出身者による日本語スピーチコンテスト」が開催されました。市内に在住・在勤されている10名の海外出身者の方々がそれぞれ自由なテーマでスピーチをしました。発表者の皆さんは非常に流暢な日本語で自信を持って発表されており、その姿からは、一人一人のこれまでの努力が伝わってきました。どのスピーチも興味深く、心温まる内容に、来場者の方々も真剣に耳を傾けていました。本コンテストは初めての開催でしたが、海外出身者と市民の方々がお互いに異文化理解を深める素晴らしいコンテストとなりました。

【結果】

○金賞 テガル・アブデル・ジャッバルさん
「メイドイン ジャパン」

- 銀賞 チャン・ティ・グエットさん
「どうして介護の仕事なの？」
- 銅賞 クワット・トゥアン・ティンさん
「日本に来た理由」
- 若鮎賞 ニック・ウェルバーンさん
「私はでぶっちょです」



▲金賞に輝いたテガル・アブデル・ジャッバルさん

12/4

秋季善行表彰

令和2年度日本善行会秋季善行表彰において塩沢二通さんが受賞されました。

塩沢さんは、長年にわたり街頭立哨交通指導や市内行事等での交通整理、交通安全運動期間における街頭キャンペーンなどの交通安全協会活動を通して、地域の交通安全の確保と交通安全思想の普及に尽力され、地域での交通事故防止に多大な功績があるとして、授与されました。

現在も活動を継続し、道路通行者の安全と交通事故防止に貢献されています。



▲ (右) 塩沢二通さん

12/9

市建設業協会 ボランティア活動実施

常陸大宮市建設業協会（加盟14社）が、きれいな道路で年末年始を迎えてもらおうと、道路清掃（ゴミ拾い）を実施しました。

このボランティア活動は毎年実施され、今回も2グループに分かれ、広範囲にわたり清掃されました。

寒い中での活動、ありがとうございました。



▲ありがとうございました

12/9

女性学級ブルーローズ第2回学習会を実施

常陸大宮市教育委員会生涯学習課では、女性が暮らしの中から課題を見つけ、共に学習し、教養と生活を高めるとともに、仲間づくりを進めることを通して、住みよい地域づくりを目指して活動する団体・グループを支援するため、女性学級を開設しています。令和2年度は4学級を開設しています。

女性学級ブルーローズは、日常生活に役立つおしゃれな作品の製作や家庭生活や子育てに役立つ学習会などを、毎回楽しく行っています。

今回は、ひたまる先生の檜座直子氏を講師に招き、常陸大宮産のフレッシュグリーンを使った、クリスマスの丸い壁飾りの製作を行いました。

針葉樹やユーカリなどを円形になるように形作った後、自分の好みの松かさやミニリング、リボンなどを飾りつけ、素敵な壁飾りができました。



▲作成に夢中！



▲完成した壁飾り

12/11

上野小学校で詩の授業

詩を通して表現力を養おうと、上野小学校の6年生が、茨城大学名誉教授である橋浦 洋志先生を講師に迎え、詩作の授業をうけました。

授業では、子供たちが事前に作った詩の中から5つの詩を例に挙げ、言葉の使い方や表現の仕方など、詩を作る上で大切なことを、橋浦先生がていねいに指導しました。

子供たちは、真剣なまなざしで授業を受け、最後の質問タイムでは、次々に手を挙げ、詩に対する疑問や悩みなど、たくさん質問しました。



▲熱心に耳を傾けて、話を聞いていました

12/13

国際交流フェスティバル

市国際交流協会主催の「第11回国際交流フェスティバル～対話・連帯・共助～ Special festival of the year～」が開催されました。ステージ発表はベトナムの竹笛演奏やジャマイカダンス、中国語での合唱、太鼓演奏や抜刀道演武など様々な国の文化に触れることができる内容でした。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により収容人数や時間など多くの制限がある中での開催となりましたが、万全な感染対策をとりながら、海外出身者と市民の方々の交流を深めることができました。



▲全員で記念撮影！

12/15

緒川小学校で生き物や自然について学びました

昨年10月ごろから緒川小学校の校庭にイノシシによって掘られたあとが見られるようになり、子供たちが「この穴は何だろう？」「なぜイノシシは穴を掘るのだろう？」と疑問に思い始めたことをきっかけに、市内でイノシシ駆除を行っている増山 洋治さんを講師に迎え、3年生が生き物と自然の繋がりについて学びました。

イノシシはエサを求めて、生きるために近くまでくることが、イノシシを捕るではなく、命をいただいているという思いで駆除を行っているなど、身近な自然の現状や動植物を含めた命の大切さについて学ぶことができました。



▲積極的に手を挙げて、発言する子供たち

12/22

常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会が発足しました

常陸大宮駅を中心とした子育て支援や多世代の市民交流の場となる交流拠点整備を推進することを目的に、令和2年12月22日(火)に「第1回常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会」が開催され、市長から委員へ委嘱状が交付されました。

委員会は、学識経験者や関係団体の職員をはじめ、若者の幅広い意見を取り入れるため、大学生、市内高等学校・中学校の生徒で組織し、「常陸大宮駅西交流拠点基本計画」を策定します。



▲常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会委員の皆さん

12/
18、19

交通社会実験を実施しました

令和2年12月18日（金）・19日（土）に、常陸大宮駅前通り（都市計画道路大宮停車場線）において、JR常陸大宮駅周辺の整備を見据え、道路空間の利活用や歩きやすい歩行空間を創出した『歩きたくなるみちづくり』に関する交通社会実験を茨城県と共同で実施しました。

歩く速度別の歩行者レーンの設置、次世代型電動椅子の試乗、キッチンカーの出店などを行い、子ども広場では、お菓子のリュック作りやひたまるが登場し、みんなが楽しめるイベントとなりました。

イベント参加者にご協力いただいたアンケートは、今後の整備に役立てていきます。



▲歩行実験の様子



▲電動椅子体験



▲お菓子リュック作り

12/19

マインドボディーヒーリング講座 ×ハーブティー交流会開催

地域おこし協力隊の古澤隊員が、マインドボディーヒーリング講座を開催しました。マインドボディーヒーリングとは身体に起こる症状のメカニズムを理解することで、症状を改善させていくというプログラムで、当日は自然体研究所の小松氏に講師を依頼して実施しました。

今回は大宮高校の生徒も参加していたため、講座終了後には古澤隊員自家製のハーブティーを振るまい、参加者全員での交流会も実施しました。ハーブティーも好評で、参加者は最後までイベントを楽しんでいました。



▲参加者と交流する古澤隊員（写真中央）

12/20

くくり罾づくり ワークショップ開催

地域おこし協力隊の松原隊員が、より多くの方に狩猟への興味を持ってもらうことを目的に、くくり罾づくりワークショップを開催しました。

参加者は松原隊員が作成したマニュアルに沿って、くくり罾づくりに取り組みました。松原隊員の丁寧な説明により、全員が1時間程度で罾を完成させることができました。ワークショップ終了後も狩猟に関する情報交換を行い、参加者全員で狩猟への理解を深めることができました。



▲作り方を指導する松原隊員（右から2番目）

12/
19,20

スケート教室開催

笠松運動公園山新スイミングアリーナ（屋内アイススケート場）において、市内小学生4～6年生を対象としたスケート教室を開催しました。

2日間で71名の児童が参加し、新型コロナウイルスの感染対策をとりながら、現地へバスや自家用車で移動しました。教室は例年よりも短い時間での開催となりましたが、最初に立ち方や転び方など基本動作を指導していただき、班に分かれてスケートリンクに入ると、最初は不安そうな様子で、立つことも精一杯だった子供たちが、教室の最後には、スイスイと滑れるようになりました。



▲一生懸命練習しました

12/28

火災に伴う 消火活動協力者表彰

令和2年11月4日に下檜沢地内で発生した建物火災において、早期に初期消火を実施したとして、鈴木 良一さんと平塚 秋子さんが表彰されました。

鈴木さんは、延焼中の住宅を発見し、延焼物の除去を実施したのち、平塚さんから借用した消火器を使用して、初期消火を実施し、母屋への延焼拡大を防ぎました。

いち早い消火器の提供と消火活動によって、延焼拡大を防いだ功績は非常に大きなものです。



▲（左から）平塚 秋子さん、鈴木 良一さん

12/
7-18

市議会定例会

令和2年第4回常陸大宮市議会定例会が、12月7日から12月18日まで開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ可決、認定及び同意されました。

条例

- 常陸大宮市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市職員の特殊勤務手当に関する条例及び常陸大宮市国民健康保険美和診療所職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市税外諸収入の滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市山方農村集落多目的共同利用施設の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市営グラウンドの設置及び管理に関する条例
- 常陸大宮市都市公園条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市火災予防条例の一部を改正する条例

令和2年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計(2会計)補正予算

その他

- 専決処分の承認を求めることについて
（常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例）
- 令和2年度那珂地方公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について
- 財産の取得について
（小中学校学習用パーソナルコンピュータ）
- 指定管理者の指定について
（おおみやコミュニティセンターほか32施設）
- 友好都市協定の締結について
- 指定金融機関の指定について
- 市道路線の認定・廃止について
- 教育委員会委員の任命について
宮本 亜希子
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
金子 正平、井樋 代里子



スポーツ大会結果

大会名：第17回常陸大宮市近郊中学校 バスケットボール大会

開催日：令和2年12月19日・20日

主催：一般財団法人常陸大宮市体育協会

会場：西部総合公園体育館

参加チーム：12チーム

【男子の部】

優勝 常陸大宮市立第二中学校

準優勝 那珂市立第二中学校

第3位 常陸太田市立瑞竜中学校

敢闘賞 常陸大宮市立大宮中学校

【女子の部】

優勝 城里町立常北中学校

準優勝 常陸大宮市立第二中学校

第3位 大子町立大子中学校

敢闘賞 那珂市立第一中学校



▲優勝した市立第二中学校の皆さん

地域おこし協力隊がゆく

地域活性化担当の松原^{まつもと}です。

今年もイノシシが自宅周辺をうろうろしています。我が家では12月に、敷地内の法面がイノシシにより掘り起こされてしまいました。このような民家に来てしまっているイノシシを今年もできるだけ捕獲していこうと思います。

捕獲も大事ですが、動物の生態や被害に関する正しい知識を身に着けることで、より効果的な鳥獣被害の対策が行えるという話を耳にしたことがあります。私は、その知識を身に着けるために、今年度から「鳥獣管理士養成講座」をオンラインで受講しています。

「鳥獣管理士」とは、「農作物被害、生態系被害、生活安全など、人と野生鳥獣の軋轢に関する地域課題の解決を担う人材の技術的能力を認証すること」を目的とした、一般社団法人鳥獣管理技術協会が認定している資格制度です。

初級の養成講座では、イノシシ、シカ、クマ、サル、カラスなど、実際に被害が出ている動物の生態や対策方法といった内容から、鳥獣被害の現状や動物の持つ

感染症、鳥獣に関連する法律など様々に学ぶことができます。

かなりのボリュームと聞き慣れていない言葉が出てくるため、大変なこともあります。非常に勉強になります。今年度の養成講座は終了しましたが、鳥獣被害対策に関心のある方は来年度の受講を検討してみるのはいかがでしょうか？



▲オンラインで講座を受講



みんなで応援しよう！東京2020 オリン

11月8日(日)～23日(月)

東京オリパラレガシー創出事業 「パラオフェア2020&常陸大宮市主催 オリンピック・パラリンピック スポーツフェスティバル」開催!!

今月号では、昨年11月23日(月・祝)に開催した「常陸大宮市主催 オリンピック・パラリンピック スポーツフェスティバル」の様子について紹介します。このイベントは、ホストタウン交流計画に基づき、市民の皆さんにオリンピック・パラリンピック競技に親しんでもらうとともに、今年開催される東京2020大会への機運を高めることを目的に行いました。

※今回のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、参加者を事前申込・市民限定とし、検温・消毒等を徹底して実施しました。

11/
23

トップアスリートから教わる

オリンピック・パラリンピック正式競技等体験会

【会場：西部総合公園 体育館】

○2004年 アテネオリンピック女子ハンマー投げ出場 室伏 由佳さんによる講話+簡単エクササイズ



講師を務めたのは、オリンピックの室伏由佳さん。小学生40名を対象に、オリンピックに出場するという夢を実現させた室伏さんが「自分の体と向き合う方法～スポーツを通じた経験から～」と題し、自らの経験を話しました。また、「少し頑張ると『できそう!』と思うことを毎日少しずつ繰り返すことが大事」と伝え、参加した子供たちに「あきらめない」「決めつけない」「思いこまない」の3つの言葉を送りました。

講話後は、ハンマー投げの回転運動を取り入れた簡単エクササイズを紹介し、参加者全員で体を動かしました。

参加者からは、「目標を持ち、少しずつ前向きに練習する事の大切さを学んだ」などの感想がありました。



▲簡単エクササイズ(回転運動)の様子

講師プロフィール 女子ハンマー投の日本記録保持者、円盤投の元日本記録保持者。2004年アテネオリンピック女子ハンマー投代表。円盤投、ハンマー投2種目で世界選手権に出場。国際的にも稀な投てき2種目の両立。2012年競技引退。現在は順天堂大学スポーツ健康科学部講師、(株)attainmentの代表取締役を務めている。スポーツ健康科学博士。

○2004年 アテネパラリンピック 車いす陸上競技800m金メダリスト 安岡 チョークさんによる車いすレーサー体験会



▲パラリンピアン
安岡チョークさん

体験会では、安岡さんから通常の車いすと競技用の車いすの違いである「長さ」「車輪の数」「車輪の角度」を教わり、実際に車いすレーサーに乗り、両腕で車輪を回す力加減やコーナリングの難しさなどを体験しました。

参加者からは、「本物のメダルを首にかけることができ、素晴らしい思い出・経験となった」などの声がありました。

講師プロフィール 1992年バルセロナ大会から2012年ロンドン大会まで6大会連続でパラリンピックに出場した超人。生まれつき両足がなかった安岡さんは、15歳で車いすレースを始め、数々の大会で優勝するなどして頭角を現し、2004年アテネ大会で金メダルを獲得した。



▲車いすレーサー体験

○元日本代表 長崎 峻侑さんによる オリンピック正式競技 トランポリン体験会

長崎さんは、跳躍中ジャージ上下を着るパフォーマンスやマットから5mほどの高さまで跳ぶ実技を披露した後、参加者一人一人にトランポリンの跳び方を丁寧に教えてくれました。長崎さんは「つらく苦しいときもあったが、トランポリンが好きだったからこそ続けることができた。みなさんも好きなことを見つけ努力し続けてほしい」と継続の大切さを話しました。



▲5mの高さまでジャンプ!

講師プロフィール 茨城県美浦村出身。9歳の時にトランポリンを始め、11歳で世界年齢別大会で銅メダルを、2003年にはユースオリンピックフェスティバルで金メダルを、2006年の世界大会では団体に銅メダルを獲得した。現在では、イベントやテレビに出演しトランポリンパフォーマンスとして活躍している。



▲オリンピック仕様のトランポリンで跳ぶ参加者

ピック・パラリンピック競技大会



東京オリンピックまで
あと **179** 日
(2021年1月25日現在)

○2012年 ロンドンパラリンピック ゴールボール競技金メダリスト 安達 阿記子さんによるゴールボール体験会



▲様々な音を頼りに行われたゴールボール体験

自らの見え方を参加者に伝える安達さん▶

ゴールボールとは、プレイヤー全員が「アイシェード」と呼ばれる目隠しを装着し、鈴の入ったバスケットボール程の大きさのボールをゴールに向けて転がして得点を競う競技です。相手選手の足音やボールの音などのかすかな音を頼りに行われる競技のため、会場が静かな状態になります。



今回の体験会では、参加者がアイマスクを着け、綱を頼りに歩く体験や鈴の音を頼りにボールを相手にに向けて転がす体験のほか、チームに分かれてミニゲームも行われました。参加者からは「こんなにも五感を研ぎ澄ましてスポーツをしたのは初めての経験だった」などと感想がありました。

講師プロフィール 14歳で右目、20歳で左目に黄斑変性症（市や中心部がモザイク）がかったような見え方を発症し視覚障害となった後、2006年にゴールボールに出会う。数々の世界大会に出場し、2012年ロンドン大会でゴールボール日本団体競技史上初となる金メダルを獲得した。

○Derroto Saber (デロタ サベール) 茨城の皆さんによるパラリンピック正式競技 ブラインドサッカー体験会

ブラインドサッカーは、パラリンピックの種目としては「5人制サッカー」と言われ、ゴールキーパー以外の4人のフィールドプレイヤーはアイマスクを装着し行う競技です。

体験会では、まず、ペアになり、目隠しをした状態で相手の説明を頼りに講師と同じポーズをするという、目が見えない状況を体験しました。その後、相手のもとへボールをまっすぐ蹴る練習やシュートを行い、パラスポーツの魅力を体感しました。Derroto Saberの皆さんは、「ブラインドサッカーは健常者も障害者もみんなが楽しめるスポーツ。ぜひ一緒に練習しましょう」と参加者に呼びかけました。



▲Derroto Saberの皆さんと記念撮影



アイマスクを着けてシュート!▶

講師プロフィール Derroto Saber茨城は2016年7月に設立されたチーム。水戸市を拠点に障害者への理解と障害者自身が誇りと自信をもって社会に溶け込めることを目指し、ブラインドサッカーの普及活動を行っている。

スペシャルイベント

スポーツに関する特別な体験会も同時開催されました! 共催: 茨城県

○リボン・アートボール2020ワークショップ ~世界にひとつのアートボールを作ろう!~

捨てられてしまうスポーツ用のボールに、アクリル絵の具で動物や模様を描き、再生させる、スポーツ・アート・リサイクルが融合された茨城発のワークショップが行われました。

参加した子供たちは好きなボールを選び、夢中になって自由に絵を描いていました。参加者からは、「集中して絵を描く子供たちの姿を見ることができ、親子で楽しめるイベントだった」などと声がありました。



▲好きな色を染めて楽しむ参加者



▲リボン(再生)したボールと記念撮影!

i-PLAY TRUE Relay 協力:(公財)日本アンチドーピング機構(JADA)

~スポーツの未来を創るメッセージリレー~

「私にとってのスポーツの価値/チカラ」と題し、参加者にメッセージを書いてもらったほか、「心の中にある真実を映し出す」フィルターポーズをして記念撮影を行い「クリーンでフェアな大会」を実現するために、東京2020大会を通してより良いスポーツの未来を一緒に創ることの大切さとそのために自分ができることについて考えました。集まったメッセージとフィルターポーズは東京2020大会期間中、デジタルアートとして披露されます。

詳しくは「i-PLAY TRUE Relay」でWEBサイトを検索!



▲フィルターポーズで記念撮影

◀メッセージを書く参加者

☆パラオブルーサポーターが活躍しました!

今回の「パラオフェア2020&常陸大宮市主催 オリンピック・パラリンピック スポーツフェスティバル」では、東京2020大会に向けた本市独自のボランティア「パラオブルーサポーター」がパラオ伝統文化体験会や競技体験会の運営を行いました。

活動の前には研修会を行い、パラオの伝統文化に関する講義を受けたほか、活動内容について話し合いを行いました。初めての活動でしたが、サポーター同士が協力し合い、より楽しい体験会を提供できるよう尽力していただきました。



▲フィルターポーズで記念撮影するパラオブルーサポーター (23日)

本市では、東京2020大会に向けたパラオ共和国のホストタウンとして、より一層の友好交流の促進のほか、オリンピック・パラリンピアンとの交流を通し、スポーツの振興、パラスポーツの普及促進を目指していきます。

環境インフォメーション

ごみの野焼きは禁止されています

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、一部の例外を除き「野焼き」は禁止されています。簡易焼却炉・ドラム缶などを用いた焼却も同様に禁止されています。

不法な廃棄物の焼却は直接罰を伴う規定があり、違反した場合は、**5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金**に処されることがあります。

野焼きにより焼却されているものの多くは、ごみの日に適正に排出すれば回収できるものです。それらを燃やすと周囲にお住まいの方々に洗濯物が汚れるなどの被害が出るほか、有害物質が発生し、悪臭や環境汚染・健康被害の原因にもなります。さらに、火災につながる危険もありますので、絶対にやめましょう。必ず決められたごみの日に排出してください。

もし、野焼きの現場を発見した場合は、生活環境課または各支所地域振興G、不法投棄110番までご連絡ください。



参考：政令で定められている野焼きの例外

- ①国または地方公共団体がその施設の管理を行うために必要な廃棄物の焼却
- ②震災・風水害・火災・凍霜害その他の災害の予防、応急対策または復旧のために必要な廃棄物の焼却
- ③風俗慣習上または宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却
- ④農業・林業または漁業を営む上にやむをえないものとして行われる廃棄物の焼却
- ⑤たき火その他日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却であって軽微なもの

※上記の例外規定に該当する場合でも、生活環境保全上の支障が生じ、苦情がある場合などは、例外扱いできないこともあるのでご注意ください。

■問い合わせ■

- 生活環境課 生活環境グループ ☎52-1111 (内線123)
- 地域創生部各支所 山方☎57-2121 美和 ☎58-2111
緒川☎56-2111 御前山☎55-2111
- 不法投棄110番 ☎0120-536-380

広報常陸大宮・ホームページ 掲載広告募集中！

【広報紙】半枠(45mm×85mm)、全枠(45mm×175mm)
【ホームページ】バナー広告

* 詳しくはホームページをご覧くださいか、本庁秘書
広聴課(☎52-1111 内線307、312)まで
お問い合わせください。

URL <https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

食改さんのおすすめレシピ Vol.21

食改さんのおすすめレシピを隔月で紹介しています。今月は、茨城県が生産日本一のレンコンを使用したレシピです。

厚揚げとレンコンのオイスター炒め



今が旬のレンコンはビタミンCが豊富に含まれます。ビタミンCには体の免疫を高める働きや、コラーゲン生成、抗酸化作用があります。

ビタミンCは水に溶けやすいので、酢水にさらすのは短時間にしましょう。

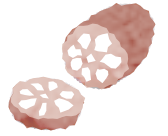
※1日の目安量=100mg

レンコンなら1節半

ブロッコリーなら1/2株

キウイなら1個半で摂取できます。

他の野菜や果物などにも含まれています。



一人分	エネルギー	食塩相当量
栄養成分	206kcal	0.6g

<材料> 1人分

厚揚げ	50g	
レンコン	40g	
片栗粉	3g	
A	マヨネーズ	8g
	オイスターソース	4g
	おろしにんにく	0.5g
油	4g	
こねぎ	1g	

<作り方>

- ① レンコンは皮をむいて、1センチ幅のスライス切りにする。酢水にさらして（5分以内）水気を切っておく。
- ② 厚揚げは食べやすい大きさに切る。こねぎは小口切りにする。厚揚げとレンコンを袋に入れて、片栗粉を加えてよく混ぜ合わせる。
- ③ フライパンに油をひいて、②を加えて炒める。
- ④ ある程度火が通ったら、Aを加えてさらに炒める。
- ⑤ 器に盛り付けて、こねぎを上のにのせて完成です。



子育て応援サイト「ハッピー子育て」

「ハッピー子育て」には、市の行政サービスや子供の緊急時の連絡先、子育て関連施設・窓口など、子育てに必要な情報がいっぱい！また、アプリに子供の情報を登録することで、子供の成長に応じて健診・予防接種のご案内や育児に関する情報をアプリで受け取ることもできます。WEBサイトは「常陸大宮市ハッピー子育て」で検索、または、市ホームページのバナーから、アプリの場合は、右記QRコードを読み取り、ダウンロードしてください。





明治初年の災害とその影響

－「小瀬一揆」とその時代を例に－

「小瀬一揆」と聞いて、市民の皆様はまず何を思い浮かべるでしょうか。「義民」の存在や、政府の政策（地租改正）との関連性は今まで何度も言及されてきました。それらは一揆を語るうえで重要な要素です。

しかし、一揆の中心人物の一人となった上小瀬村（現市内上小瀬）の町甚左衛門らが、直前に県令に対し提出した「歎願書」のなかで、地租「延納」をもとめる理由として「災害」の存在を持ち出しているとおりに、一揆およびその過程でみるべき要素はほかにもあります。すなわち、歎願書には「抑当上小瀬村並に緒川沿岸一体の諸村ハ去る明治五年七月十三日の洪水並に翌明治六年九月十日暴風之為耕作物皆無に属し」とあります。

冒頭にこれらの災害が持ち出されている点から、当時の農民たちにとってかなり大きな出来事であったと思われます。こうした災害とは、具体的にどのようなものであったのでしょうか。まだ確たる被害状況を分析できるにいたっていませんが、たびたび、これに類する災害（緒川の水害か）があったのは当時の史料からみても確かなようです。同じく緒川沿岸に位置した野口平村（現市内野口平）では、明治7年（1874）中に「川欠」（＝水害により農地として使用不能になった田畑）があったことによる「永引」（＝年貢賦課地から一定の面積もしくは高を最初から除外）の件

で、村長・戸長・区長が県に対して検査を「再願」しています（「川欠永引再願之儀」明治8年 野口平区有文書）。このなかでは、「地租改正」を実施するにあたって「指支候二付」とあります。



▲歎願書（個人蔵）



飯塚 彬氏
近現代史部会協力員
国文学研究資料館
資料整理等補助員

小瀬一揆がおこったのは明治9年で、「歎願書」の「洪水」と「暴風」の記載は明治5・6年の出来事で時期には開きがあります。ただ、水害があったことによる「川欠」が地租改正に影響を与えることが危惧されているのと同じように、農民たちにとって災害の存在は忘れ難いものであったのでしょうか。

小瀬一揆に関する伝承は「義民」を中心として数多く伝わっていますが、この一揆をおこすにいたった農民たちの同時代的な状況、そして地域の状況はまだまだ調べる余地がありそうです。

市民の皆様とともに、この複雑な時代について考えていきたいと思えます。情報提供など何卒よろしくお願い申し上げます。



▲川欠永引再願之儀（野口平区有文書No.48）
茨城県立歴史館寄託資料

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111（内線344）

急性腹症のお話

常陸大宮済生会病院 外科部長 菱川 修司

皆さんこんにちは。今回は「急性腹症」のお話をさせていただきます。

皆さんには急性腹症という言葉はなじみが薄いかもかもしれませんが、当院外来に「急性腹症」の患者さんが運ばれて来ることはそれほど珍しいことではありません。急性腹症は「急激に発症した腹痛の中で手術などの迅速な対応が求められる疾患群」と定義されており、例えば「お腹が痛くて病院に運ばれ、鼻から管を入れて治った」患者さんなどは「急性腹症」と診断されます。

それでは皆さんに問題です。急性腹症の原因は何だと思われますか？

おそらく皆さんからは「胃潰瘍、胆石症」といった消化器系の病名が出てくるかと思います。もちろん急性腹症の原因の多くがこれら消化器系疾患であることは事実ですが、意外にも「心筋梗塞・心筋炎」といった心血管系や「気胸・肺炎」などの呼吸器系、または「子宮内膜症、卵巣捻転」等の産婦人科系疾患など消化器以外の病気も急性腹症の原因になり得ます。つまり「お腹が痛くても、必ずしも胃や腸の病気とは限らない」のです（お腹が痛いのに心臓の病気が原因だったと聞くとびっくりしますよね）。

急性腹症の患者さんを診察する際、私たち医療スタッフは問診を重要視します。問診とは患者さんま

たは付き添いの方から、大切な医療情報を得る行為をいいます。例えば「いつから痛み出しましたか？」「嘔吐や下痢など他の症状は起きていませんか？」「今どのような薬を飲んでいますか？」「今までに手術を受けたことはありますか？」「最後に食べた食べ物は何ですか？」など色々なことをお伺いいたします。これらはすべて、正確な診断に導く大切な質問ですので、面倒かとは思いますがご返答よろしくお願いいたします。

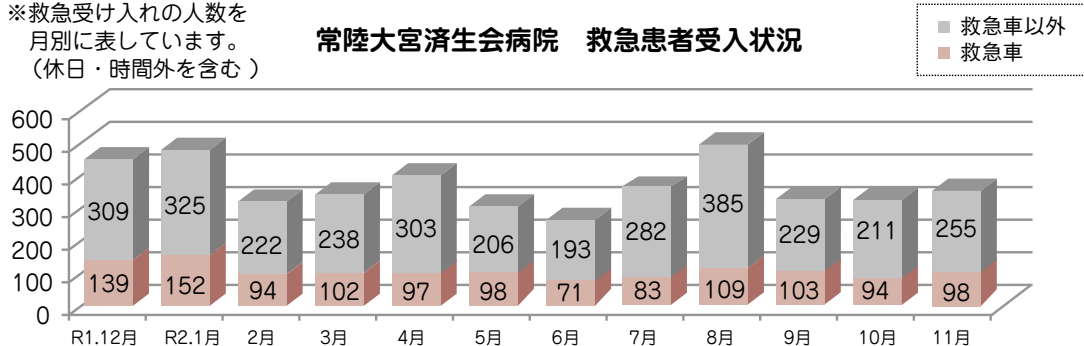
一般的に高齢者に急性腹症が発症した場合は重症化しやすいとされています。「すでに何らかの基礎疾患（持病）を持っている人が多いこと」や「ご高齢ゆえ症状の訴えが思うようにできず病態が進行してしまっていること」などが理由に挙げられます。

皆さんご自身または周りの方（特にご高齢の方）で「今までに感じたことのないような腹痛」が起こった時は、病状が悪化する前に遠慮なく当院までご連絡ください。当院には優秀な医療スタッフが常駐しておりますのでどうぞ安心して受診してください。



※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況



常陸大宮の絵はがき

郵便制度の開始により、明治6年（1873）に通常葉書、同33年（1900）に絵はがきの使用が認められると、名所や名品の写真や戦地の様子を写したニュース性の高いもの、デザインを凝らしたものなど様々な絵はがきが作られました。かつての常陸大宮市内の風景を用いたものも発見されています。文書館に所蔵されている常陸大宮市を写した絵はがきを紹介します。

◇小学校の落成を祝う

昭和8年（1933）10月、上野村の尋常高等小学校が新築移転し、これを記念して絵はがきが作られました。上野小学校は、明治7年（1874）に上岩瀬、下岩瀬、根本、泉、下村田の5か村が連合して上岩瀬富士山地区に小学校を設立したのが始まりで、明治13年に誕生寺境内に移転、さらに昭和8年に根本地内に移転しました。現在確認されているのは3枚組で（当初のセット枚数は不明）、校舎の全景写真、校舎玄関に4人の男性が写る写真、裁縫室の写真がモノクロで印刷されています。被写体の男性のうち、左端の帽子をかぶる男性は、昭和6年5月から4年間村長を務めた小野正雄です。稲田写真館が製作し、新築の記念に、関係者や地元の人々に配布されたものと考えられます。



▲上野尋常高等小学校新築記念絵はがき



▲「上野尋常高等小学校玄関」と題された絵はがき

◇「思い出の常陸大宮」

このタイトルが付けられたカラー写真の絵はがきは、昭和37年4月に竣工した農林省の放射線育種場（ガンマーフィールド）の設置を記念して作られたものです。放射線育種場（上村田）は国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の運営する施設で、放射線による突然変異を利用した作物の品種改良を行っています。設置にあたっては地元からの反対もあり、その安全性や農産業への貢献を訴え、市民への理解を広めることが重要でした。絵はがきの封筒には施設見学ができることも案内されています。

現在確認されているのは7枚（当初のセット枚数不明）で、施設を紹介するものが3枚、残りの4枚は大宮町の風景を写したもので、「大宮の中心街」（現在の下町付近）、「甲神社の裸祭り」（正しくは素鷲神社の祭り）、「宇留野公園からの眺望」、「久慈川の鮎釣り」で、町章も印刷されています。

このような絵はがきが皆さんの家のどこかに眠っていませんか。情報をお待ちしています。



▲思い出の常陸大宮



▲「大宮の中心街」と題された絵はがき

謝辞 「上野村尋常高等小学校新築記念絵はがき」は秋山和隆様に、「思い出の常陸大宮」は小澤伸一様に寄贈をいただきました。御礼申し上げます。どちらも文書館で閲覧することができます。

【参考文献】『大宮町史』昭和33年、『水戸ノスタルジア』（図録）水戸市立博物館2013年、『絵葉書にみる土浦』（図録）土浦市立博物館2010年、絵葉書資料館HP



緊急自動車の緊急走行にご協力をお願いします

救急車や消防車などの緊急自動車が緊急走行しているときには、速やかに道を譲るようご協力をお願いします。

緊急自動車とは？

火災現場や医療機関へ搬送時などの緊急用務を遂行するために赤色の警告灯（回転灯）をつけてサイレンを鳴らして走行している車両のことです。（道路交通法39条同法施行令第14条規定）

サイレンが鳴っています



赤色の警告灯（回転灯）がついています

緊急自動車が近づいてきたときの対応

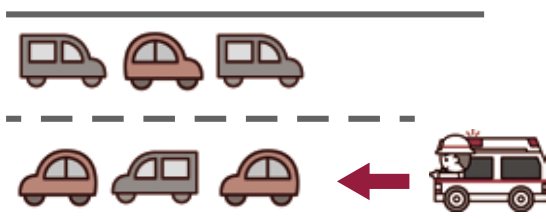
緊急自動車が緊急走行で接近してきた場合、基本的に左側に寄って緊急自動車に道を譲らなければなりません。道路交通法では次のように対応を定めています。

・交差点またはその付近の場合（道路交通法第40条1項）

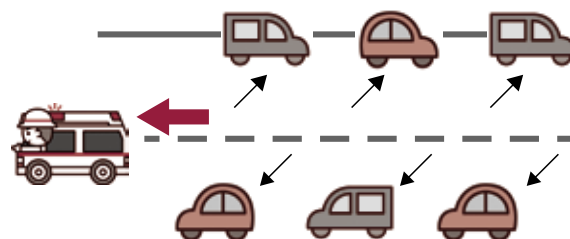
交差点を避けて、かつ道路の左側（一方通行となっている道路においてその左側に寄ることが緊急車両の通行を妨げることになる場合は、道路の右側）に寄って一時停止しなければならない。

・交差点またはその付近以外の場合（道路交通法第40条2項）

道路の左側に寄って、緊急自動車に進路を譲らなければならない。



緊急自動車が近づいてきたら…



基本的に左側に寄って道を譲りましょう

緊急自動車に進路を譲らなかったら？

緊急自動車に対する進路妨害には、おもに2つの違反があります。

・緊急車妨害等違反

道路交通法第40条「緊急自動車の優先」および第41条の2「消防用車両の優先」により、一般車は緊急自動車が来たら交差点を避けて一時停止し、緊急自動車を優先することが義務付けられています。
罰則金：5,000～7,000円 違反点数：1点

・本線車道緊急車妨害違反

道路交通法第75条の6「本線車道に入る場合等における他の自動車との関係」により、一般車は緊急自動車が本線車道に出入りすることを妨げてはならないと義務付けられています。
罰則金：5,000～7,000円 違反点数：1点

緊急自動車が迅速かつ安全に走行できるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54 - 0119

御前山ビオトープ周辺の植物等

山野の林の縁などに多いつる性の落葉低木です。巻きひげと刺で他の植物などに絡みついて茎を伸ばしていきます。おす株とめす株は別株です。葉が伸びると同時に葉の付け根から伸びた枝の先に黄緑色の小さな花が集まって咲きます。果実は10～11月頃に赤く熟します。葉は餅を包むのに使われたりします。



(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

季節のフォトギャラリー

市内で撮影した季節の風景をご紹介します
～2021年 元日～



▲初日の出 (花立山自然公園)



▲久慈川と初日の出 (坏橋)



▲小舟富士からの富士山



常陸大宮市の人口

(1月1日現在・推定常住者)

総人口 38,964人 世帯数 15,994世帯
(男 19,263人 女 19,701人)

広報 常陸大宮 1月 第196号

発行日 令和3年1月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

U R L <https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

